

奈弓連だより

通巻 225号

令和2年11月号
発行 奈良県弓道連盟
会長 西中 正
編集担当 松澤和実 山本悦子
連絡先：henshu@narakyudo.jp

第299回臨時地連審査

初段11名、式段5名合格

10月25日(日)ならでん弓道場において、審査会が行われました。コロナウイルスの影響で、昨年3月の審査も急遽中止となり、目標を持っていない時期が続いていましたが、やっと審査会が開かれ、前に向かって進んでいけるようになりました。

しかし、まだまだ、コロナ対策が必要で、審査会では運営も密を避ける為様々な対策を講じました。受付はグループごとに時間帯を分け、開会式・矢渡しは行いませんでした。学科審査はレポート形式とし、合格発表は後日各支部、学校へお知らせすることとし、行射後は速やかに帰宅するようお願いしました。

このような状況の中、審査員の先生方及び奈良支部の皆様のご協力を得て審査会を無事終了することができました。

審査結果は次の通りです。

級位 受審者7名 1級合格者7名

初段 受審者11名 合格者11名

式段 受審者9名 合格者5名

(審査部 松村由喜子)

第23回奈良県弓道近代的選手権大会

コロナ禍、競技方法を変更して実施

11月3日ならでん弓道場において、第23回奈良県弓道近代的選手権大会が行われました。参加人数男子54名、女子37名、参加者総数91名と参加者多数のため午前を男子二部制、午後を女子に分けての開催となりました。また20射の予定を8射にし、二部制にともない順位は同率順位とし競射は行いませんでした。

結果は以下の通りです。

男子

1位(7中)

辻本 元威(香芝)、前角 博(橿原)

山口亮二(生駒)

女子

1位(6中)

前川なつき(橿原)

平井摂子(郡山)

3位(5中)

栄島なるみ(奈良)

小西徳子(橿原)

コロナ禍の中、密を避けスムーズな開催、進行にご協力いただきありがとうございました。

(競技部 西田ゆり)

第39回全国高等学校弓道選抜大会兼第28回近畿高等学校弓道選抜大会県予選

団体は男子 平城高、女子 郡山高が1位

11月1日、8日ならでん弓道場で行われました。

男女団体個人の予選(11月1日に実施)

各自8射、団体は3人立計24射、上位8校が予選通過。個人は女子4中以上・男子5中以上が予選通過。

団体予選

男子

15中 平城

13中 橿原・桜井

12中 青翔・榛生昇陽

11中 奈良北・畝傍

10中 高田商業

女子

17中 郡山

13中 高田商業

12中 五條・橿原

11中 磯城野・桜井・畝傍

10中 榛生昇陽

個人予選

男子 17名通過

女子 13名通過

個人準決勝決勝・団体予選リーグ決勝リーグ(11月8日に実施)

男子

1位 横矢翔大 畝傍

2位 田中蒼翔 橿原

3位 森本愁夕空 五條

4位 多田春生 磯城野

5位 横田陽斗 法隆寺国際

6位 蒲田将隆 奈良

7位 岡本優雅 榛生昇陽

8位 堀内瑞豊 青翔

女子

植木花音 郡山

澤井花奈 西の京

中村真望 橿原

冷水あさみ 青翔

長谷川凜花 畝傍

中谷花音 桜井

古岡志帆 橿原

西浦光希 高田商業

団体戦2次予選リーグ

予選通過8校を4校ずつ2リーグに分けて総当たりのリーグ戦を行い、上位2校ずつで決勝リーグを行う。

男子Aリーグ

1位	平城	2勝1敗	20中
2位	青翔	2勝1敗	18中
3位	榛生昇陽	1勝2敗	17中
4位	高田商業	1勝2敗	15中

男子Bリーグ

1位	奈良北	3勝0敗	21中
2位	橿原	2勝1敗	24中
3位	桜井	1勝2敗	22中
4位	畝傍	0勝3敗	16中

決勝戦

平城	7中	1位
奈良北	6中	2位

3位決定戦

青翔	5中-1中-2中-1中	
橿原	5中-1中-2中-2中	3位

女子Aリーグ

1位	郡山	3勝0敗	27中
2位	橿原	2勝1敗	20中
3位	磯城野	1勝2敗	15中
4位	榛生昇陽	0勝3敗	18

女子Bリーグ

1位	畝傍	2勝1敗	16中
2位	五條	2勝1敗	13中
3位	高田商業	2勝1敗	13中
4位	桜井	0勝3敗	13中

決勝戦

郡山	8中	1位
畝傍	4中	2位

3位決定戦

橿原	6中	3位
五條	5中	

団体入賞者

男子

1位	平城	松岡・武本・中野・西谷
2位	奈良北	吉田・雲雀・田次・芳村
3位	橿原	田中・森本・吉岡・西村
4位	青翔	堀内・的場・坂田

女子

1位	郡山	植木・森山・馬原・磯橋
2位	畝傍	長谷川・堀内・飯田・岡田
3位	橿原	森田・前田・中村・種村
4位	五條	枅谷・谷端・片山・多田

●男女とも団体1位は、12月25・26日で愛ドーム（岐阜県）で行われる第39回全国高等学校弓道選抜大会に出場します。※今年の全国選抜は団体戦のみ
●男女とも団体1位から3位・個人1位から6位は、11月21・22日 大津武道館で行われる第28回近畿高等学校弓道選抜大会に出場します。



男子個人



女子個人



男子団体入賞者



女子団体入賞者

(高体連 澤 隆明)

奈良県の支部、団体紹介

シャープ弓道部

工藤裕章

■ 歩み

「シャープで勤労者大会に出てみないか。」
1992年の冬の日の、新司先生の一言から、始まりました。1992年3月シャープ社内で弓に関心のある者を集い、弓道部設立のための会合を開催。同年、シャープ労働組合天理支部内で同好会として承認され活動開始。勤労者大会まで2か月、新司先生の計らいで、奈良の道場で練習、また、香芝支部の中塾先生、中村先生のご支援により、香芝支部で練習させていただくこととなりました。

・第39回 全日本勤労者弓道大会初出場（1992年香川県詫間町）⇒8中/20射で予選敗退

こんなに手厚く歓迎されて、楽しい試合があるのかと驚かされ、勤労者大会が弓道部の最大の目標となる。以後、1次予選通過6回、決勝トーナメント進出1回の成績。同年、初の夏合宿（吉野竹林院）では、ただただ、道場の整備と、矢道の夏草ぼうぼう+藪蚊の自然の洗礼を受けました。

同年、10月 第40回全日本実業団弓道大会に初参加（at伊勢神宮弓道場）⇒2チーム参加するも予選敗退。兎に角面白い試合。あの伊勢の道場に12的、同時打ち起こして、何でもOK（行射中指導、矢所の指示も可能）の楽しく、新しい弓道のアプローチを目にした感覚の試合。以後、団体で入賞3回、個人でも優勝2回、準優勝1回、3位3回の成績でした。

同年10月 第16回近畿選手権大会（明石弓道場）初出場で団体準優勝（11中/12射）素晴らしい快挙。

同年12月 第1回雪笹杯争奪射会
弓道部内の納射会（「弓と禅」の一節から雪笹と命名）。前年度上位3名が矢渡し・下位3名が納射とクラブ内のルールを設定し、忘年会では、この雪笹杯でビールを頂くのが優勝者の務めとなりました。

1993年、無事、同好会から正式クラブに昇格し、会社のクラブとして正式活動、存続中です。

1994年 第5回 みかんの島で弓祭 初参加（10回最終回まで参加）景品は 扇的のを落とすと、真鯛 1匹という楽しい



大会でした。

1995年 実業団大会で初の決勝戦出場（9位敢闘賞）、2003年 全日本勤労者弓道選手権大会（埼玉）1次・2次予選通過し、初の決勝トーナメント進出。

■ 現在の活動

新司先生の一言から、同好会を含め、29年目となります。（30周年記念射会模索中）細々となってきましたが、会社に対しての弓道部の位置づけと、県連の一支部としてのシャープ支部の2面性を維持しながら、活動しております。

- ① 活動場所：布目弓道場「英明館」
- ② 活動日時：毎週土曜日10:00～13:00
- ③ モットー：弓友皆師・不立文字
- ④ 活動内容：

a) 主要目標

- ・全日本勤労者弓道選手権大会出場
- ・全日本実業団弓道大会出場

b) 部内活動

- ・新年射会
- ・例会（春夏秋冬4回）+懇親会
- ・合宿（最近は休止中）
- ・雪笹杯争奪射会

⑤ 日々の練習内容

- ・澄まし（瞑想）
- ・行射（坐射）一手3回以上
- ・体配練習（基本体から、介添えまで）
- ・射技相互研修（先生方の指導レビュー＋
α）時々、吉本先生・西浦先生にご指導頂いています。

■■ 皆様へ ■■

振り返ってみまして、多くの方々のご支援によりここまでやってこられましたことに、改めまして感謝いたします。ぜひ、練習、ご一緒しましょう。

いつでも、弓友皆師の気持ちで切磋琢磨できればと思っています。また、真面目さと遊び心を合わせ持って楽しんでいきたいと考えています。

❖ ホームページ

http://urori.pupu.jp/sharp_kyudo_club_old/

❖ Facebook

<https://www.facebook.com/sharp.kyudo.club/>

歳時記

「十二月」

歳暮

お歳暮とか、お中元と云う季節の名が、物を贈る代名詞になっていることは、面白い事です。中元は陰暦七月十五日の節目をいいます。中国より伝来した節目で、他に正月十五日の上元、十月十五日の下元がありますが、現在では盆の行事と混同して中元だけが残っています。一年を二期に分けて六月と十二月の晦日に神社では大祓いをします。これによって年に二回、前期は中元の日、後期は年の暮れに今でもお世話になった方や、教をいただいた方にお礼を申し上げる日としていたのが、贈答と結び付いたものと思われま



商家では六月、十二月を決算日とし、サラリーマンにもこの時期にボーナスが渡されるなど、

色々と関連づけられる事も重なっています。贈答の「答」をお返しする、返礼すると解釈している人もありますが、そのような意味ではありません。あくまで日頃お世話をいただいたお心に答えてお礼を贈ると言う意味です。最近は贈答品がデパートなどから託送されてきますが、お礼ですので必ず手紙をつけるか、別便でお礼の意味でお贈り申し上げる意を記した手紙を送ります。本来は持参すべきものなので、表書きにお中元、お歳暮などと書くことは誤りです。節目の名は品物ではありません。もしデパートなどから託送するのなら、口上の代りにお中元御礼、お歳暮御礼と記せば意味が通じましよう。表書きは本来、目録のかわりに直接認めるもので、水引を中心にして、上部の方の中央に品名、下部の方の中央に数量を記すべきです。例をあげると、菓子、一折と云う様に書きます。自分の名前ですが、正しくは、目上の人に差し上げる時は紙を縦に名札を作り、向かって左脇に水引にはさみます。同輩の場合は直接左脇に、水引の下部に記します。連名で贈る場合は、右から順に上位の者から名前を書いていきます。正しく目録に記す場合も同様です。手紙の場合の逆になります。昔は贈り物には、酒、肴を添える習慣があって、これが熨斗になったものです。従って、酒、肴あるいは卵や鶏の贈り物の場合には熨斗は不要です。また、精進の意味から、不祝儀の場合にも熨斗はつけません。水引の結び方は結び切り

が正式です。略の形が蝶結び、いわゆる雌結びになります。今日流行のおおげさにかたどった装飾的な結び方は、全くの略式になります。

「小笠原流マナー」著者小笠原清信
グラフ社発行より 中埜大学藤原孝澄(中埜広樹)
(2008年11月号に掲載された記事を再掲)

量る、測る、計る？



あなたの使っている弦は何匁ですか？

「号」じゃないの？ 匁って何？」と聞き返されそうですね。合成弦は、号数で表記されていますが、麻弦は「匁(もんめ)」という、尺貫法で表されています。急に何匁と聞かれても、見当もつきませんね。

号数(弦の太さ)の目安表では、0号12kg以下、1号13kg以上、2号17kg以上、3号20kg以上とあります。私は普段、並弓15kgで1号を使用。今手元にある新弦を量ってみました。0号5.35g、1号6.42g。計算サイトに頼ってみました。1.6匁=6g、1.7匁=6.375g、1.8匁=6.75g。1号6.42gに近いのは1.7匁のようです。ただし、同じ目方でも太さや弾力の違い、弓質に調和した弦のえらび方が必要とされます。弦音がいいからと細すぎる弦を選ぶと、手の内の技術が必要、という耳の痛い話もあります。

さて、弦によくついている白い紐。何かご存じでしょうか？「弦を外した時に、本弰にかけて弦の散逸することを防いで弦を休めおくもの」**休め弦**または**弦休め**と言うそうです。では、この部分の名は？



「もじり」

「三ツ頭」(みつがしら)

上の弦輪は「日の輪」

下は「月の輪」

小さな所ですがちゃんと名前があり弦も調べてみると奥深いですね。

編 | 集 | 後 | 記

久しぶりに地連審査が行われました。実施方法がこれまでとは様変わりし、受審者も役員の方々も初めてのことに戸惑いもあったかと思いますが無事終了されたとのこと。こうして新しい形をつくり上げていく時に来ていることを感じます。(編集担当 山本悦子)